

4th Sleep Symposium in Kansai-Kumamoto (SSK)

日時：平成20年8月2日(土) 9:30~18:30 (受付 09:00~)

会場：熊本市 県民交流館パレオ (テトリアくまもとビル 10 階) 熊本市営電車「水道町」電停前
鶴屋東館の入っているビルの10階

開会の挨拶(9:30) 熊本大学 脳機能病態学 池田学

Sleep Course(9:35-12:20)

9:35-10:45 夜間行動異常を示す患者に対する PSG-video モニター

座長:金沢医大 医学教育学 堀有行

担当:関西電力病院 睡眠関連疾患センター及び OSHNet 教育委員会

----- Coffee break -----

11:00-12:20 CPAP titration の実際

座長:大阪回生病院 睡眠医療センター 谷口充孝

担当:大阪回生病院 睡眠医療センター及び OSHNet 教育委員会

-----Lunch time -----

「睡眠医療と睡眠医学の教育」に関する意見交換会 (自由参加 12:50-13:20) を同時進行で行います

第1部: RBDとその近縁領域 (13:30-15:45)

座長:鹿児島大学 精神機能病学 佐野輝/ 大阪大学 保健センター 三上章良

13:30-14:15 レム睡眠行動異常症(RBD)とパーキンソン病(PD)とを結ぶもの:認知機能および自律神経機能を中心に
昭和大学 神経内科 河村満

14:15-15:00 レビー小体型認知症(DLB)の症候学

熊本大学 脳機能病態学 池田学

15:00-15:45 睡眠関連疾患の神経病理: RBD を中心に

東京都老人総合研究所 老年病のゲノム解析研究チーム・高齢者ブレインバンク

村山繁雄

第2部: ポスターセッション(16:00-17:30) 各演題 発表8分・質疑応答5分

第3部: 特別講演(17:30-18:30)

座長:関西電力病院 神経内科・睡眠関連疾患センター 立花直子

The history and future perspective of RBD RBDの歴史と今後の展望

Minnesota Regional Sleep Disorders Center, Department of Psychiatry

University of Minnesota Medical School, Minneapolis **Dr Carlos H Schenck**

19:00~: Get Together Party カーネーションサロン (鶴屋東館 7 階) (会費 3000 円)

参加費 医師 5,000 円、医師以外の保健医療職・研究者 3,000 円、会社関係者 8,000 円

問い合わせ先:

熊本大学 脳機能病態学 (平田真一) TEL: 096-373-5184 FAX: 096-373-5186

または Sleep Symposium in Kansai: <http://www.ismsj.org/> の「お問い合わせ」フォームからお願いします

主催 Sleep Symposium in Kansai (SSK) 組織委員会



後援 NPO 法人 Osaka Sleep Health Network



Endorsed by World Association of Sleep Medicine

Sleep course と特別講演につきましては、AAST (The American Association of Sleep Technologists) の CEC (Continuing Education Credits) の対象として 3.5 credits が取得できます。

今後 SSK は ISMSJ に生まれ変わり、会員制となります。
第4回 SSK の参加者は、初年度分の年会費無料で会員に登録されます。

